

東北学院震災復興対策委員会（第4回）次第

日時：平成23年4月20日（水）理事会終了後

場所：土樋キャンパス1号館6階会議室

委員：平河内理事長（委員長）・星宮学院長（副委員長）宮城総務担当常任理事

関谷財務担当常任理事・柴田人事担当常任理事・高橋法人事務局長・斎藤学務担当副学長
高木法学部長・永井中学校・高等学校長・久能榴ヶ岡高等学校長・日野総務部長・高橋財
務部長・佐々木施設部長・佐藤庶務部長・斎藤庶務課長・若生人事課長・駒板財務課長

陪席：那須監事・佐々木宗教部長

黙祷

委員長 平河内 健治

協議事項

- 1、前回議事録確認
- 2、東日本大震災に伴う礼拝堂の被害と復旧内容及び工程
2011年3月11日発生した東日本大震災と復旧についてー2・・・1p～5p
2011年3月11日発生した東日本大震災と復旧ステップ図・・・1p～5p
礼拝堂工程表（5月9日から礼拝堂を使用できるようにした場合）
- 3、学生指導に関わる経費の一部変更・・・・・・・・・・・・・資料1
- 4、九州大学法政学会からの見舞金・・・・・・・・・・・・・資料2
- 5、石巻からの通学バス運行について

第3回 東北学院震災復興対策委員会議事録

日 時：平成23年4月13日（水） 14:08～14:55

場 所：1号館6階会議室

出席委員：平河内健治 星宮 望 宮城光信 関谷 登 柴田良孝 齋藤 誠 高木龍一郎
久能隆博 永井英司 高橋清昭、佐藤範明 高橋秀悦 日野 哲 佐々本文彦
齋藤英夫 若生克義 駒板高明 以上17名
陪 席：那須和良（監事）

協議事項

1. 前回議事録確認 委員会終了時まで確認いただき、承認された。
2. 東日本大震災に伴う東北学院生活資金貸付規程
説明：佐藤庶務部長 別紙資料に基づき説明があり承認された。前回の当委員会において、特別住宅資金貸付規程の制定についてご承認をいただいたが、公認会計士から、財産として残るものに対して無利子の貸付は課税されるおそれがあるとの指導から、生活資金への貸付制度へ変更を加え、前回承認事項を撤回し、今回再度審議し承認いただくこととした。なお、提出書類のうち様式1-2は削除することとした。また、福島原子力発電所における震災を理由とする貸付の場合にも対応することが確認された。
3. 東日本大震災被災学生に対する救済措置に関する規程
説明：日野総務部長 別紙資料に基づき説明があり承認された。なお、本規程に基づき授業料が減免された場合でも、他の奨学金制度での追加給付あるいは、大学給付奨学金規程に基づく給付のいずれかの給付を受けることができるということが確認された。また、本規程は年度末に失効する時限立法だが、期間の延長については柔軟に対応することも確認された。また、中学校・高等学校、榴ヶ岡高等学校、幼稚園についても本規程に準じた形で今後検討していくことになる。
4. 東日本大震災による東北学院大学各キャンパス礼拝堂のパイプオルガン修繕内訳表
説明：高橋財務部長 別紙資料に基づき説明があり承認された。礼拝堂パイプオルガンの修繕総額は3キャンパス合計15,574,050円の予定。
5. その他
①説明：柴田人事担当常任理事 本学院における放射線モニタリング調査の実施について、宮城総務担当常任理事を中心に東北大学等の状況等を確認し進めていくことが承認された。

報告事項

1. 高橋財務部長 次の説明があり了承された。
①日本私立学校振興・共済事業団から、低利の融資の案内がきているが今回は借りないで対応することとしたい。
②昨年まで、科研費申請者には年10万円の研究費を支給していたが、今年度は5万円とすることが学部長会で決定した。
2. 齋藤学務担当副学長 次のお礼及びお願いを含めた説明があり了承された。
①大学では4月29日（金）[昭和の日]を出勤日とし、5月2日（月）を振替日とし、出勤

の必要がある場合には、休日出勤とし代休処理をとることとする。

- ②泉キャンパス体育館の損傷がひどく、体育の実習に支障がきたす恐れがあったが、榴ヶ岡高等学校の体育館を週6コマ分借用することができ、実施の目途がたった。
- ③東日本大震災により、教育実習の引き受け中学校及び高等学校から引き受け辞退があり、3名が実習できないでいる。中学校・高等学校及び榴ヶ岡高等学校に更に協力いただけないか検討をお願いします。無理な場合は、実習時期を秋期に移して対応する等の処理が必要となる。

資料 1

学生指導に関わる経費の一部を今年度に関り以下のように変更する。

- 1、学生懇談会費は支給しない。
- 2、グループ主任出席費（懇談会等の行事）を1グループにつき 年間 10,000 円、1 回の出席費は 5,000 円で、年 2 回分とする。
- 3、演習等の担当者出席費（懇談会等の行事）を1対象科目（通年科目）につき年間 10,000 円、1 回の出席費は 5,000 円で、年 2 回分（半期科目は1回分）とする。
- 4、課外活動団体部長（顧問）出席費（懇談会等の行事）1 団体、1 部長（顧問）につき 年間 10,000 円、1 回の出席費は 5,000 円で、年 2 回分とする。

資料 2

東北学院大学法学部

学部長 高木龍一郎先生

謹啓

このたびの東北地方太平洋沖巨大地震により筆舌に尽くしがたい被害に見舞われた皆様、とりわけ貴学関係者の皆様に対し、謹んでお見舞い申し上げます。

さて、九州大学法政学会では、この間被災された東北地域の方々のために法政学会として何かお役に立てることはないかと検討を重ねてまいりましたが、このたび、九州大学法学部と日頃から密接な交流関係にある貴学法学部に対して、主として被災した法学部学生諸君に対する支援の一助としていただくことを目的に、震災見舞金100万円を差し上げようとの結論を得た次第でございます。

些少ではございますが、貴学法学部学生の支援のためにご活用いただければ、まことに幸甚に存じます。

謹白

平成23年4月15日

九州大学法政学会

会長 酒 匂 一 郎

(九州大学大学院法学研究院長)



見積書

平成 23 年 4 月 18 日

東北学院様

期 日：平成 23 年 4 月 25 日（月）から 5 月 31 日（火）
場 所：石巻－多賀城－仙台

ご依頼いただきました貸切バス代は、下記のようにお見積させていただきますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

(単位 円)

項 目	単 価	数 量	金 額	備 考
貸切バス（大型）				往復利用・2 台×23 日間
有料道路通行料				石巻河南－仙台港北往復
貸切バス（大型）				往復利用・1 台×23 日間
有料道路通行料				石巻河南－仙台港北往復
下見費用				有料道路代・交通費含む
合 計				

<大学送迎運行期間>

4/25（月）－4/30（土）6 日間

5/9（月）－5/13（金）5 日間

5/16（月）－5/20（金）5 日間

5/23（月）－5/27（金）5 日間

5/30（月）－5/31（火）2 日間

計 23 日間

<中・高送迎運行期間>

4/27（水）・4/30（土）2 日間

5/2（月）・5/6（金）・5/7（土）3 日間

5/9（月）－5/14（土）6 日間

5/16（月）－5/21（土）6 日間

5/23（月）－5/28（土）6 日間

5/30（月）－5/31（火）2 日間

計 25 日間

ご 旅 程 表

東北学院大学様

平成 23 年 4 月 25 日 (月) ～ 4 月 30 日 (土) 6 日間

日次	期日	行 程	宿 泊	備 考
1	4/25 (月) ～ 4/30 (土)	<p><往 路></p> <p>6:00 6:10 7:00 JR 石巻駅前 == 石巻河南 IC == 仙台港北 IC == (乗車) 三陸道</p> <p>7:15 7:20 8:30 == 多賀城キャンパス == 土樋キャンパス (下車) (下車)</p> <p><復 路></p> <p>18:00 19:10 19:20 19:35 土樋キャンパス == 多賀城キャンパス == 仙台港北 IC == (乗車) (乗車) 三陸道</p> <p>20:25 20:35 == 石巻河南 IC == JR 石巻駅前 (下車)</p>		

ご 旅 程 表

東北学院大学様

平成 23 年 5 月 9 日 (月) ~ 5 月 13 日 (金) 5 日間
 平成 23 年 5 月 16 日 (月) ~ 5 月 20 日 (金) 5 日間
 平成 23 年 5 月 23 日 (月) ~ 5 月 27 日 (金) 5 日間
 平成 23 年 5 月 30 日 (月) ~ 5 月 31 日 (火) 2 日間



日次	期日	行 程	宿 泊	備 考
1	5/9 (月) ~ 5/31 (火)	<p><往 路></p> <p>6:00 6:10 7:00 JR 石巻駅前 == 石巻河南 IC == 仙台港北 IC == (乗車) 三陸道</p> <p>7:15 7:20 8:10 == 多賀城キャンパス == 泉キャンパス (下車) 岩切経由 (下車)</p> <p><復 路></p> <p>18:00 18:50 19:00 19:15 泉キャンパス == 多賀城キャンパス == 仙台港北 IC == (乗車) 岩切経由 (乗車) 三陸道</p> <p>20:05 20:15 == 石巻河南 IC == JR 石巻駅前 (下車)</p>		

ご 旅 程 表

東 北 学 院 中 学 ・ 高 等 学 校 様

平成 23 年 4 月 27 日 (水)・4 月 30 日 (土)	2 日間
平成 23 年 5 月 2 日 (月)・5 月 6 日 (金)・5 月 7 日 (土)	3 日間
平成 23 年 5 月 9 日 (月)～5 月 14 日 (土)	6 日間
平成 23 年 5 月 16 日 (月)～5 月 21 日 (土)	6 日間
平成 23 年 5 月 23 日 (月)～5 月 28 日 (土)	6 日間
平成 23 年 5 月 30 日 (月)～5 月 31 日 (火)	2 日間

日次	期日	行 程	
1		<p><往 路></p> <p>6:00 6:10 JR 石巻駅前 == 石巻河南 IC == 矢本 IC == (乗車) ユニクロ前 (乗車)</p> <p>6:20 6:30 == 矢本ロックタウン駐車場 == 矢本 IC == 鳴瀬奥松島 IC == (乗車) 三陸道</p> <p>6:45 6:55 7:25 == ひと休みパーキング == 鳴瀬奥松島 IC == 仙台港北 IC == (乗車)</p> <p>7:55 == 小鶴新田・東北学院中学、高等学校</p> <p><復 路></p> <p>17:30 18:00 小鶴新田・東北学院中学、高等学校 == 仙台港北 IC == 三陸道</p> <p>18:30 == 鳴瀬奥松島 IC == ひと休みパーキング == 鳴瀬奥松島 IC == (下車)</p> <p>18:50 == 矢本 IC == 矢本ロックタウン駐車場 == 矢本 IC == 三陸道 (下車) 三陸道</p> <p>19:00 == 石巻河南 IC == JR 石巻駅前 ユニクロ向側 (下車) (下車)</p>	<p>※ 仙台港北 IC 下車後、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① R-45 JR 中野栄駅左折直進 ② サトウ商会 (左側) 交差点右折直進 ③ セブンイレブン (高砂市民センター前) 右折直進 ④ 田子交差点 (右側ファミリーマート) 左折直進 ⑤ 信号機左折 ⑥ 「止まれ」を右折 ⑦ 校舎を過ぎて左折 ⑧ 中・高正門内へ。 <p>※ ⑤信号機左折後、道路通行に注意。</p>

※ 4/30・5/7・5/14・5/21・5/28 (土) のみ復路、小鶴新田発時間は 14:00

(素案)

平成 23 年 4 月 25 日

学部長・部長 各位

財務部長 高橋秀悦

決算関係日程及び予算・補正予算関係日程等に関する重要事項について（事務連絡）

標記に関する日程並びに重要事項について、連絡いたします。

記

1. 決算関係

(1) 監査

公認会計士監査（本部監査）： 5 月 6 日（金）～11 日（水）

監事監査： 5 月 11 日（水）

公認会計士監査（各部門・本部監査）： 6 月 1 日（水）～3 日（金）

(2) 委員会・会議・常務理事会・理事会・評議員会の日程

大学財政専門委員会 5 月 16 日（月） 本館会議室 13：30～15：00

財務会議 5 月 17 日（火） 本館会議室 10：50～12：20

常務理事会 5 月 18 日（水） 1 号館会議室 13：00

理事会・評議員会 5 月 26 日（木） 8 号館会議室 10：50

2. 予算・補正予算関係

(1) 平成 23 年度予算示達額の一部の削減・凍結： 4 月 7 日（木）提出締切

（削減・凍結の）概算枠を守った予算単位：

「予算変更願」の「変更後の予算額」以内での執行を認める。

（削減・凍結の）概算枠を守れなかった予算単位：

財務課において個別に対応する。

(2) 補正予算の編成方針等

上記 1(2)の委員会等において、決定する。

(3) 補正予算編成のためのヒアリング日程（予定）

「東北関東大震災からの復興に向けた基本方針」並びに「東北関東大震災：平成 23 年度予算執行等に関する基本方針」に記載された事項に関する予算単位に対して、補正予算編成のためのヒアリングを行う。

（暫定的な）日程： 6 月 20 日（月）～22 日（水）

3. その他

- (1) 個人研究費： 個人研究費については、「東北学院大学個人研究費支給内規」及び「東北学院大学個人研究費支給内規細則」により、平成 23 年 3 月 1 日以降の研究費に対する支出より、認める。ただし、「東北復興対策委員会」及び「学部長会」の了承により、個人研究費の支給額は年額 22 万円とする。パソコン、プリンター等への支出に限り、前期において半額の 11 万円を越える支出についても認める。
- (2) 東北新幹線の仙台～東京間の復旧にともない 4 月 25 日以降の日程の「出張願」を総務課（各キャンパス庶務係）で受け付ける。出張承認の手続きは、従前の通りとする。

(素案)

平成 23 年 4 月 25 日

学部長・部長 各位

財務部長 高橋秀悦

大震災による教育研究用機器備品等の取替更新等について（事務連絡）

大震災により教育研究用機器備品・用品等が破損し、本年度の授業・研究等に支障が出る場合には、当然に、取替更新が必要になることと思います。これについては、各学科、各研究所等において、すでに破損（被害）状況を調査済みのことと思います。

通常の機器備品・用品等の取替更新の場合ですと、それぞれの予算単位の予算あるいは施設課の予算に計上され、執行されることとなりますが、大震災により教育研究用機器備品・用品等の取替更新等については、当然のことながら、予算化されておらず、補正予算を編成し執行する予定です。

しかしながら、平成 23 年 4 月 20 日の理事会において「予算外支出のうち、東日本大震災に起因する施設設備等の復旧事業に関する事項」が常務理事会に委任することが承認されましたので、緊急を要する事項については、常務理事会及び「復興対策委員会」の承認により、実施することが可能になりました。

つきましては、各学科、各研究所等において調査済みの破損状況、被害額、復旧の優先順位等を財務部長までご報告をお願いいたします。

繰り返しになり恐縮ですが、補正予算が承認される前の執行には、常務理事会及び「復興対策委員会」の承認が前提となっていますので、財務部長へのご報告を失念なきようお願いいたします。

このたびは、東日本大震災により被災した学生の修学支援事業と本学院の教育環境の復旧・改善事業に対して、格段のご支援を賜り、誠にありがたく心から御礼申し上げます。

ご厚情に深謝し、本学院建学の精神のもと、授業料の減免や給付奨学金の充実など被災学生の修学支援のために、また被災した教室・教育研究設備などの復旧・改善のために、大切に使用させていただきたいと存じますので、今後ともなお一層のご支援を偏にお願いいたします。

なお、このたびのご支援につきましては、「東北學院時報」並びに本学院ホームページにご芳名と金額を掲載させていただきますので、なにとぞご了承いただきたく存じます。

ここに、とりあえず、御礼のご挨拶とさせていただきます。

平成 年 月 日

学校法人 東北学院

理事長 平河内 健 治

学院長 星 宮 望

様